

東京知道会平成 25 年第 5 回幹事会議事録

1. 日時 平成 25 年 12 月 14 日 (土) 14:30 - 16:00

2. 場所 サンケイプラザ 3 階会議室

3. 議題

(1) 平成 26 年度総会「同窓の集い」担当学年(昭和 60 年卒)からの報告

(2) 各委員会(企画、組織、財務、会報)からの報告

(3) その他

①平成 25 年度決算予想について

②知道会代議員会報告(11 月 9 日 水戸)

③西日本水中一高会総会報告(12 月 7 日 大阪)

④浅野副委員長からの提案

(4) 次回開催日程

4. 参加者 22 名

5. 議事内容

(1) 平成 26 年度総会「同窓の集い」担当学年(昭和 60 年卒)からの報告

ML 登録者数は 89 名。60 年卒同期への集い案内は、12 月 8 日にハガキ発送済み。11 月にサンケイホール打合せ・正式申し込み、備品在庫点検を行い、12 月 7 日地酒注文開始し、終了した(物販は根本酒造対応)。今後、しおり作成を進める。会場テーブル配置、進行スケジュールは、基本的に昨年を踏襲させていただきたい(了承)。総会の議長は 56 年卒、懇親会の乾杯の音頭は 48 年卒が行う。懇親会の途中で 60 年卒のシークレットイベントを予定。

(2) 各委員会からの報告

①企画委員会

10 月 26 日(土)に予定した筑波山ハイキングには 25 名の申し込みがあったが、台風による荒天のため中止とした。参加申し込み者に対しては、前日朝に中止の連絡をした。来年度の行事計画で花見の会は 4 月 5 日(土)午前 10 時から墨田区隅田公園(水戸藩下屋敷跡)で行う。会費は 1,000 円を予定。次号会報に案内記事を掲載予定。夏休みの企画は 8 月 3 日(日)を候補日とする。建設業協会の役員をされている谷田海幹事長から、東京外環自動車道の理解を深めるため、建設現場の見学してはどうかとの提案があり、今後検討する。歩く会は 10 月 25 日(土)、筑波山(今年の企画をベースに検討)を予定している。募集人員は 30 名程度。夏休みの企画、歩く会については、東京知道会の特別会計や茨城県人会連合会からの補助を仰ぐことも検討。その他自主企画についても歓迎。

②組織委員会

名簿登録人数は4,747名（うち有効人数4,259名）。会報メール送付会員は298名（いずれも11月27日現在、財務データ反映後のもの）。忘年会（12月14日＝幹事会当日）の参加者は71名（うち昭和60年卒12名、昭和61年卒7名、平成卒18名）。11月から宍倉副委員長を中心に事前打ち合わせ、メールでの打ち合わせを進め、谷田海幹事長からの平成卒へのプッシュ、幹事学年からの次学年へのアプローチで多数の参加となった。フェイスブックの卒業生のグループページ（487名）でも気軽な情報交換が行われており、今後とも同窓会の裾野を広げることに役立てていきたい。

③財務委員会

会費と寄付金を合わせた合計額は272.3万円で10月時点から5.2万円増加。今年は250～300万円の収入を目標としていたので、ほぼ見込み水準の収入。2013年度会費は243.6万円で前年同期と比較して25.5万円少ない。内訳は今年度入金分198.3万円、前受金45.3万円（現時点での来年度前受金は37.5万円）。寄付金は28.7万円あった。

会費・寄付金納入者の延べ人数は891人で10月時点から17人増加。今年度実入金者数は722人、前受金151人、差分は会費と寄付金の双方納入者数。今後の取組みとして、年会費納入窓口の設置および自動振替の案内を行う。若手会員が増える中で、同窓会存続のためには経費の増加を防ぐ必要があり、会報1月号に、65歳以上で過去5年間会費支払のない人への会報配信停止予告を記載する。2014年も今年並みの会費・寄付金収入（250～300万円）を目指す。安定収入確保のために、改めて自動振替を推進する。

④会報委員会

第76号。発行時期は1月17日頃を予定。印刷部数は前回より200部程度減。ほぼ原稿は集まった。11ページの活動報告は忘年会特集。写真を多めに使い10～15人程度からの一言メッセージで展開する。今号では久しぶりに広告が入るが、今後も期待できそうな所から広告を取って行きたい。1面では同窓の集い案内とともに木名瀬勝氏の講演内容紹介、9面ではそれに関連した助川会長の親鸞についての特別寄稿が入る。

（3）その他

①平成25年度決算予想について

収入・支出は5,653,200円。収支ゼロで決算できる見込み。基本財産と基金に手を付けずに済みそうである。

②知道会代議員会報告（11月9日 水戸）

予算での主な収入、支出について説明があった。ふるさと応援募金の義援金の残金は母校生徒の海外派遣プログラム（シンガポール）の補助として5年間にわたり支出する。

③西日本水中一高会総会報告（12月7日 大阪）

谷田海幹事長が出席、関西県人会の会長相馬さんのほか数人の大学生の参加があった。広

報委員会主催の行事として大学生の集い、美術鑑賞、新入生歓迎会などを行っている。

④浅野副委員長からの提案

米国の日系人収容所体験を子供達に伝えているアリスさんの講演会「海を越え時代の荒波を越えた ある日系人のねがい」（仮称）を東京知道会の企画として取り組めないか（了承）。会員に日米史や日本人論を考える機会を提供するのが狙い。当該企画の米国での中心人物が S63 卒であり、現在東京知道会の組織上の課題である昭和卒世代から平成卒世代へ「つなぐ…」最後の年代の懸け橋となる可能性がある。

（４）次回幹事会は 26 年 1 月 29 日（水）、アットビジネスセンター東京駅八重洲通り会議室で午後 6 時半から開催。

以上